



氷こおりにさわるとどうして指ゆびがくっつくの

氷こおりが接着剤せっちゃくざいのようなはたらきをする

冷れいとう庫こから出だしたばかりの氷こおりにさわって、指ゆびが氷こおりにくっついてしまったことがあるでしょう。このとき、冷れいとう庫こから出だした氷こおりの温度おんどは、たいへん低ひくくなっています。冷れいとう庫この中の温度おんどは、ふつう、マイナス10ドスキー以下いかになっているので、氷こおりもマイナス10くらいになっています。

冷れいとう庫こから出だしたばかりの氷こおりに直接ちよくせつさわると、人ひとの体温たいおんで氷こおりの表面ひょうめんが少しとけて、水みずになります。しかし、氷こおりの温度おんどが低ひくいために、とけた水みずがすぐにこおってしまいます。

このとけた水みずがこおるとき、氷こおりが接着剤せっちゃくざいのようなはたらきをしていて、指ゆびが氷こおりにくっついてしまいます。

冷ひえた金属きんぞくにもくっつく

氷こおりだけではなく、0いか以下ひに冷ひえた金属きんぞくにさわっても、指ゆびがくっついてしまうことがあります。これは、金属きんぞくの表面ひょうめんにある霜しもや手ての湿しめり気けが、いっしゅんのうちに氷こおりになって、これが接着剤せっちゃくざいのはたらきをするためです。

氷こおりや金属きんぞくに指ゆびがくっついたときには、すぐみずに水みずをかけてください。無理むりやりにとったりすると、皮ひふがはがれたりすることがあるので、気きをつけてください。

(監修・小川 格)

